

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年8月11日 (2011.8.11)

【公表番号】特表2010-533781(P2010-533781A)

【公表日】平成22年10月28日 (2010.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-043

【出願番号】特願2010-517338(P2010-517338)

【国際特許分類】

C 0 9 D 135/02 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

C 0 8 F 289/00 (2006.01)

C 0 9 D 133/04 (2006.01)

C 0 9 D 109/00 (2006.01)

C 0 9 D 109/06 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 5/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 135/02

C 0 8 F 2/44 C

C 0 8 F 289/00

C 0 9 D 133/04

C 0 9 D 109/00

C 0 9 D 109/06

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月22日 (2011.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

酸（メタ）アクリラート又は重合導入可能な多官能化したカルボン酸を有する少なくとも 1 のポリマー成分を含有していることを特徴とする、少なくとも 1 のエチレン性不飽和モノマー成分を含有する膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 2】

酸（メタ）アクリラートが、ジカルボン酸の群から選択されていることを特徴とする、請求項 1 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 3】

酸（メタ）アクリラートが、 - C E A の群から選択されていることを特徴とする、請求項 2 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 4】

重合導入可能な多官能化したカルボン酸が、イタコン酸、フマル酸、マレイン酸の群から選択されていることを特徴とする、請求項 1 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 5】

ポリマー成分が、熱可塑性樹脂の群から選択されていることを特徴とする、請求項 1 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 6】

ポリマー成分が、(メタ)アクリル樹脂のホモポリマー、コポリマー及び/又はターポリマーの群から選択されていることを特徴とする、請求項 5 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 7】

ポリマー成分が、(メタ)アクリレートコポリマーを含有することを特徴とする、請求項 1 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 8】

ポリマー成分が、メチル(メタ)アクリレート、エチル(メタ)アクリレート、n-ブチル(メタ)アクリレート、イソブチル(メタ)アクリレート、t-ブチル(メタ)アクリレート、2-ヒドロキシエチル(メタ)アクリレート、2-ヒドロキシプロピル(メタ)アクリレート及び/又は2-エチルヘキシル(メタ)アクリレートを含有することを特徴とする、請求項 1 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 9】

ポリマー成分が、1又は複数のジエンと少なくとも1のスチレン、ビニルトルエン、ビニルクロリド、ビニルアセタート、ビニリデンクロリド及び/又はビニルエステルからなる反応生成物を含有することを特徴とする、請求項 1 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 10】

エチレン性不飽和モノマー成分が、メチルアクリレート又はアクリレート官能性を含有することを特徴とする、請求項 1 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 11】

エチレン性不飽和モノマー成分が、メチル(メタ)アクリレート、エチル(メタ)アクリレート、n-ブチル(メタ)アクリレート、イソブチル(メタ)アクリレート、t-ブチル(メタ)アクリレート、2-ヒドロキシエチル(メタ)アクリレート、2-ヒドロキシプロピル(メタ)アクリレート及び/又は2-エチルヘキシル(メタ)アクリレートを含有することを特徴とする、請求項 9 記載の膨張性コーティングのための樹脂系。

【請求項 12】

少なくとも1のエチレン性不飽和モノマー成分と、酸(メタ)アクリレート又は重合導入可能な多官能化したカルボン酸を有する少なくとも1のポリマー成分と、慣用の膨張性助剤及び添加剤とを、フリーラジカル重合により重合することを特徴とする、請求項 1 記載の樹脂系を含有する膨張性コーティングの硬化方法。

【請求項 13】

助剤及び添加剤として、開始剤、有利には有機過酸化物を使用することを特徴とする、請求項 11 記載の膨張性コーティングの硬化方法。

【請求項 14】

開始剤として、ジアルキルペルオキシド、ケトペルオキシド、ペルオキシエステル、ジアシルペルオキシド、ヒドロペルオキシド及び/又はペルオキシケタールを使用することを特徴とする、請求項 12 記載の膨張性コーティングの硬化方法。

【請求項 15】

金属表面及び木材表面のコーティングのための請求項 1 記載の膨張性コーティングの使用。